

アドミッション・ポリシー

各入試において、以下の学力、人間的側面について確認された人を受け入れます。

- ・ 入学後の学習に必要な「国語」「家庭」「情報」「英語」などの基礎的な内容を理解している人【知識・技能】
- ・ 自身あるいは他者の生活について考え、判断し、それを他者に対して適切に伝える基礎的能力を有する人【思考力・判断力・表現力等】
- ・ 主体的に学内外の活動に参加し、人との関わりを大切にしながら、相互理解および協力を努める意欲を有する人【主体性、多様性、協働性】

カリキュラム・ポリシー

建学の精神に則り、高い教養・情操と専門的な知識や実践的な技術をバランスよく身につけ、社会的活動及び家庭において貢献できる人材の育成を目的としてカリキュラムを編成します。  
 家政科共通の科目として、共通科目、家政科コア科目、支援科目を設置します。  
 ・ 共通科目は、グローバルな社会人として生きるための普遍的かつ豊かな教養と、変動かつ進化が著しい「新しい社会」(Society5.0)への適応に向けた素養を身につけるための科目です。  
 ・ 家政科コア科目は、家庭を中心とした生活を総合的、科学的に学ぶ科目です。  
 ・ 支援科目は、短期大学の課程を履修するのに必要な基礎知識を補完し、かつ、社会人基礎力の礎となる科目です。

令和6年度入学生 家政科履修系統図

●：卒業必修（両専攻）、△：生活デザイン専攻 卒業必修科目・食物栄養専攻 設置なし、記号なし：選択科目（両専攻）

科目区分	卒業時の学修成果(到達目標)	科目区分ごとの学修・教育目標	1年前学期	1年後学期	2年前学期	2年後学期	
共通科目	・ 変革がグローバルな社会人として生きるための普遍的かつ豊かな教養を身につける。 ・ 向けた素養を身に新しい社会(Society5.0)への適応に。	コミュニケーション能力を磨くとともに短大生としてのマナーと技術を身につける。	●教養基礎演習				
		変動かつ進化が著しい「新しい社会」(Society5.0)の素養として、情報通信技術(ICT)によるデータの取得、分析の基礎、活用方法、情報倫理などを含めたデータサイエンスの分野を中心に身につけ、かつパソコン資格にも取り組む。	●情報技術	ビジネスエクセル			
			ビジネスワード・パワーポイント				
			●データサイエンス				
		人間心理に対する理解力を養い、それに基づく行動力を身につける。	心理学				
		グローバルな社会人として生きるための、基本的な社会の仕組みとその変化を学ぶとともに、持続可能で普遍的な社会の一員として必要な行動をするための考え方を学ぶ。	ボランティア論	異文化と世界	SDGsと現代の社会問題		
社会科	自らの将来に向け、社会的・職業的自立のために必要な意識やコミュニケーション能力を含む能力を身につける。	●キャリア形成 I	キャリア形成 II				
		ビジネスマナー					
芸術・美術	心身が健康であることの重要性を学び、運動を通じて健康な身体を育み、体調を保つことの重要性を学び、日常生活の中で適切な運動を実践できるようにする。		●運動と健康				
言語	グローバル社会に生きる基礎としての語学力を身につける。		標準英語スキルズ	応用英語スキルズ			
			●英語コミュニケーション(専攻別)				
コア科目	家庭を中心とした生活を総合的、科学的に認識し、生活の質の向上を目指して学ぶことにより、自らの人生を作り出し、社会に貢献する力を身につける。	●家政学概論(家庭経営学含む)			●消費生活と環境(家族関係学含む)		
		△食生活論					
		●衣・住生活論					
支援科目	入学時よりも基礎学力が定着し、社会人基礎力の礎になる。	英語基礎演習(専攻別)					

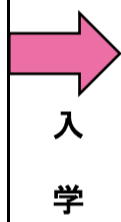
ディプロマ・ポリシー

所定の単位を修得することによって、以下の能力を身につけた学生について卒業を認定し、学位を授与します。

- ・ 仕事や家庭生活に必要な専門的な知識・技術をもち、豊かな生活に向けてそれを実践できる能力【知識・技能】
- ・ 高い教養、情操及び倫理観(責任感)をもって物事を的確に理解、判断、表現することにより問題解決を図ることができる能力【思考力・判断力・表現力等】
- ・ グローバルな社会人として生きるための、多様な他者に配慮しつつ協働する能力、自分の意見を主体的に主張できる能力【主体性、多様性、協働性】

教育目的

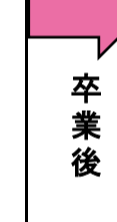
職業又は實際生活に必要な能力を具備する女性の育成



入学



卒業



卒業後